

平成 27 年度エネルギー対策特別会計委託業務

「地元地域の新聞を通じた情報提供事業（新聞広報）」

委託業務成果報告書

株式会社 福井新聞社

【事業の実績】

各事業の実施日程

業務の実施日程	実施日程												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①アンケート			←→ 事前アンケート									←→ 事後アンケート	
②新聞本紙・月刊fu 広告制作・掲載 a. 福井新聞本紙 b. 月刊fu											←→ 本紙掲載 3月6日 ←→ 月刊fu掲載 3月22日		
③意見交換会採録の制作							←→						
④業務実施に関する評価					←→ 中間評価委員会 9月1日							←→ 事後評価委員会 3月17日	

①事前アンケート調査

福井地区	7月4日実施	エルパ（福井市大和田町 2-1212）
鯖江地区	7月11日実施	アル・プラザ鯖江（鯖江市下河端町 16-16-1）
敦賀地区	7月5日実施	アピタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）
県内大学	7月4日～24日実施	福井大学・福井県立大学・仁愛大学
県内商工会議所	7月4日～24日実施	福井・敦賀・小浜商工会議所・わかさ東商工会

①事後アンケート調査

福井地区	3月13日実施	エルパ（福井市大和田町 2-1212）
敦賀地区	3月12日実施	アピタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）

②新聞本紙・情報誌「月刊fu（ふう）」広報業務

新聞本紙	全15段（カラー）	平成28年3月6日掲載
月刊fu	本文4ページ（カラー）	4月号（平成28年3月22日発行分）

③意見交換会採録の制作

平成27年10月9日に開催された「原子力フォーラム in 北陸技術交流テクノフェア2015」（会場：福井県産業会館）に対して採録紙面を制作し、「地元TV放送やWebを通じた情報提供事業（テレビ広報）」にて開設されたWebページ「もんじゅNAVI」に掲載した。

④業務実施に関する評価

中間評価委員会	平成 27 年 9 月 1 日実施	実施場所：文部科学省
事後評価委員会	平成 28 年 3 月 17 日実施	実施場所：文部科学省

[評価委員（外部有識者）3名]

木村 浩 氏（原子力）

谷川 有希乃 氏（コミュニケーション）

新澤 武士 氏（運営・財政）

業務の実績と説明

①-1 事前アンケート調査

もんじゅに対する一般県民への意識調査

福井県民に対して、原子力やエネルギーや高速増殖炉「もんじゅ」に関して、知りたいことや疑問に思うことについてアンケート調査を実施した。

[事前アンケート調査概要]

回収数 全体：558件（男性：270件／女性：280件／無記入：8件）

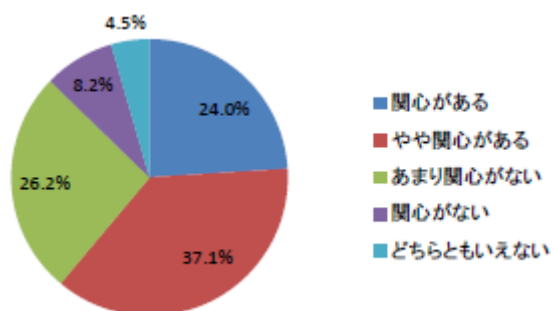
エリア 嶺北：350件／嶺南：182件／県外：10件／無記入：16件

福井地区	7月4日実施	エルパ（福井市大和田町 2-1212）
鯖江地区	7月11日実施	アル・プラザ鯖江（鯖江市下河端町 16-16-1）
敦賀地区	7月5日実施	アピタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）
県内大学	7月4日～24日実施	福井大学・福井県立大学・仁愛大学
県内商工会議所	7月4日～24日実施	福井・敦賀・小浜商工会議所、わかさ東商工会

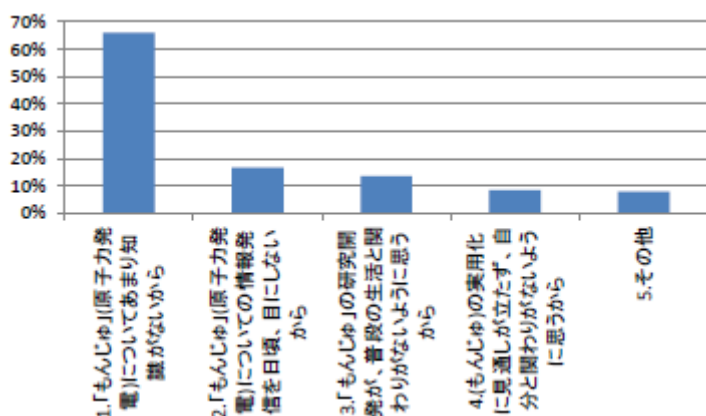
※平成 27 年 11 月 13 日に原子力規制委員会から「もんじゅ」の運営主体である日本原子力研究開発機構について、出力運転を安全に行う主体として必要な資質を有しておらず、機構に代わる運営主体と特定すべき旨の勧告が発出されたことにより、事前アンケート調査結果に基づいた広報を実施することが困難な状況になったことを踏まえ、平成 28 年 3 月 4 日、業務計画を変更した。

[アンケート結果]

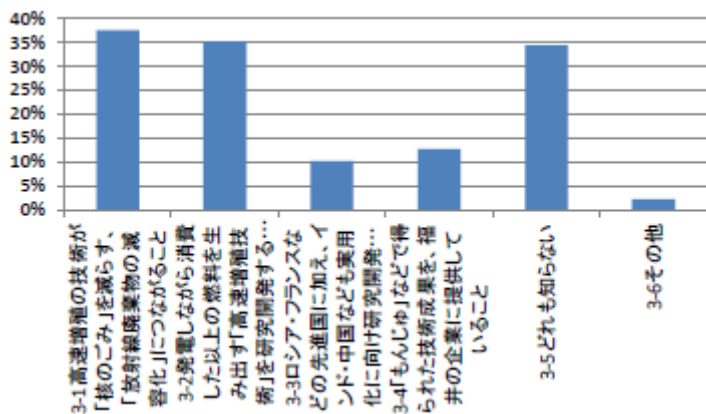
質問 1：高速増殖炉「もんじゅ」や原子力に関心があるか？



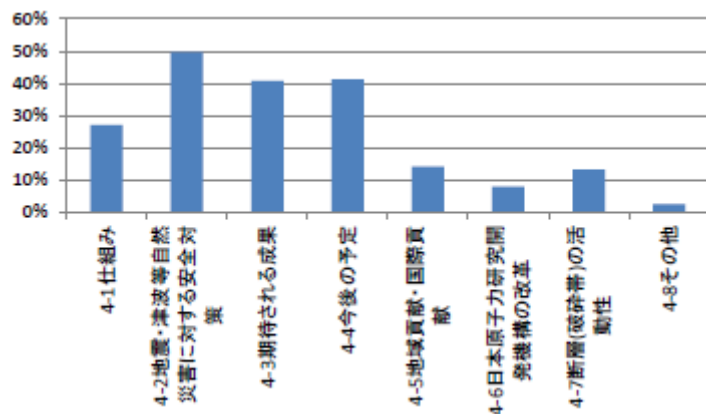
質問 2：(質問 1 で③・④「(あまり) 関心がない」とお答えの方へ) その理由は？



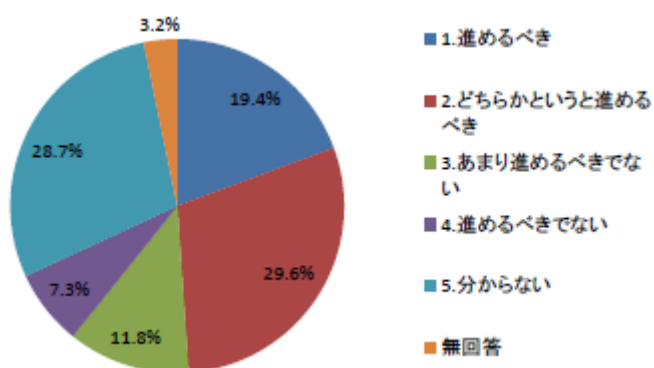
質問 3：「もんじゅ」について知っていることは？



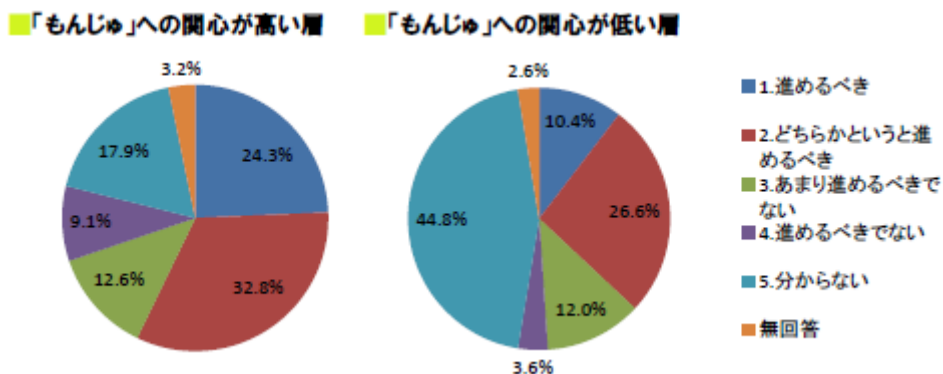
質問 4：「もんじゅ」について関心があること、福井新聞などで詳しく紹介してほしいことは？



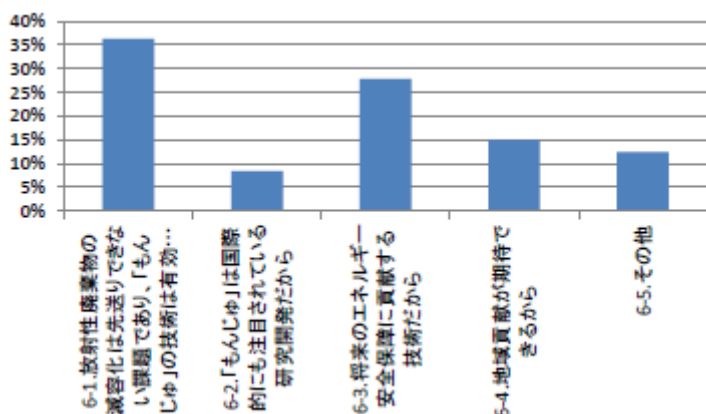
質問 5 : 「もんじゅ」の研究開発を積極的に進めていくべきと思うか？



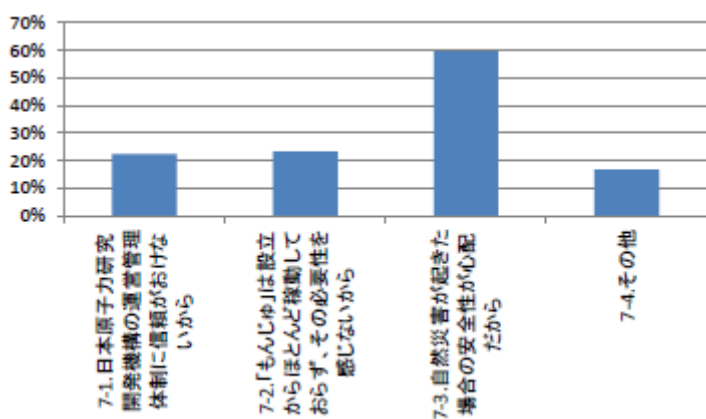
質問 1 と質問 5 の相関関係



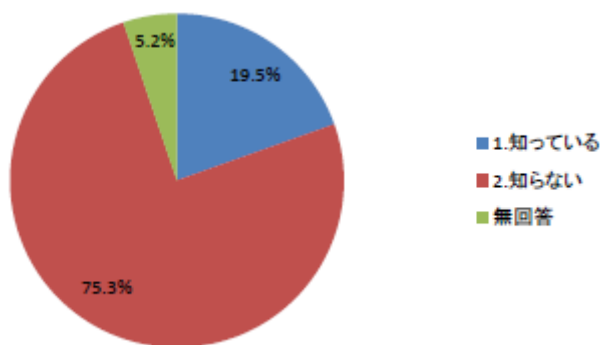
質問 6 : (質問 5 で「(どちらかという) 進めるべき」と答えた方へ) その理由は？



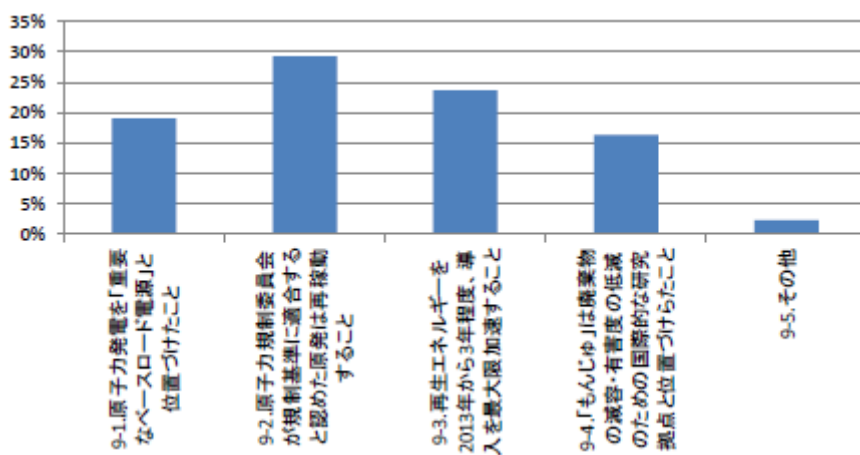
質問 7：（質問 5 で「どちらかという と 進めるべきでない」と答えた方へ）その理由は？



質問 8：新しいエネルギー基本計画が 4 月に閣議決定されたことを知っているか？



質問 9：エネルギー基本計画の内容で関心のあることは何か？



①-2 事後アンケート調査

実施した広報の効果を測定するための意識調査

福井県民に対して、実施した広報の効果を測定するための調査。評価指標として、「基礎的な知識の理解促進」「知識の理解促進の実施・手法」「知識の理解促進の実施の持続」「高度な知識への興味・関心の波及」を掲げ、肯定的回答の割合から効果を測定した。

[事後アンケート調査概要]

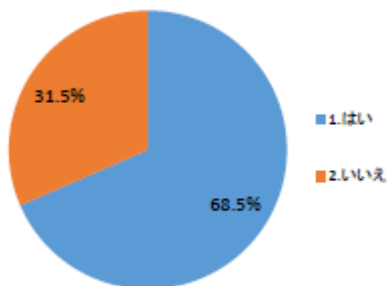
回収数 全体 276 件（男性：117 件／女性：156 件／無回答：3 件）

エリア 嶺北：136 件／嶺南：126 件／県：10 件／無回答：4 件

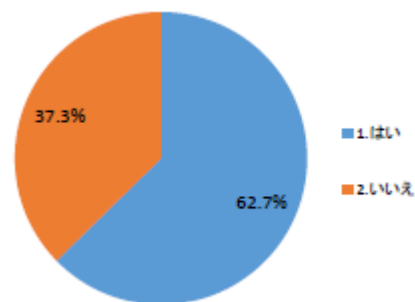
福井地区	3月13日実施	エルパ（福井市大和田町 2-1212）
敦賀地区	3月12日実施	アピタ敦賀（敦賀市中央町 1-5-5）

[アンケート結果]

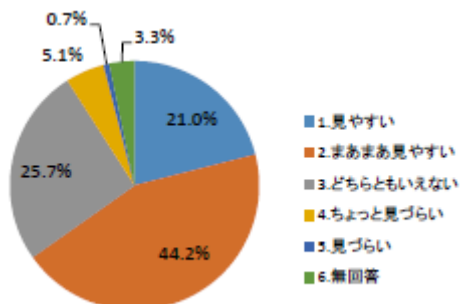
質問 1：福井新聞を購読していますか？



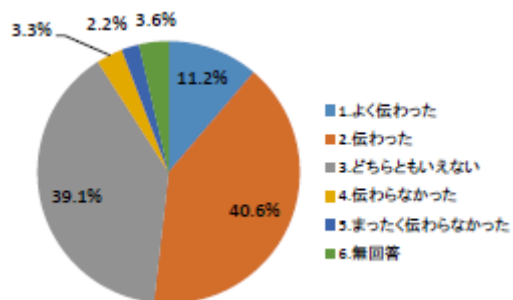
質問 2：「もんじゅ広報」の紙面を見た記憶はありますか？



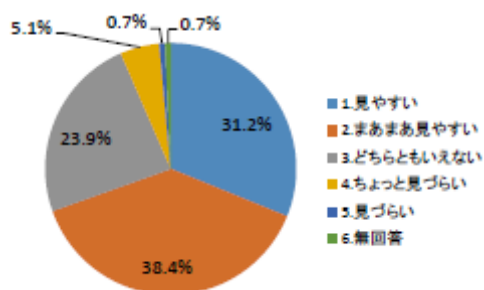
質問 3：「もんじゅ広報」の紙面は見やすいと思いますか？



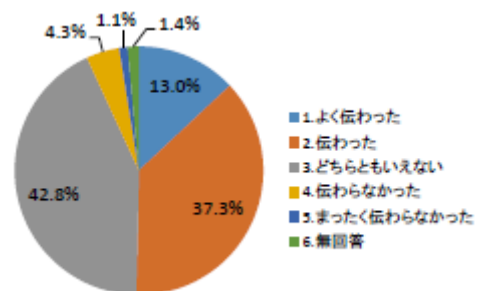
質問 4：新聞本紙の「もんじゅ広報」の紙面を見て、勧告後のもんじゅに対する文部科学省の取組状況について、伝わりましたか？



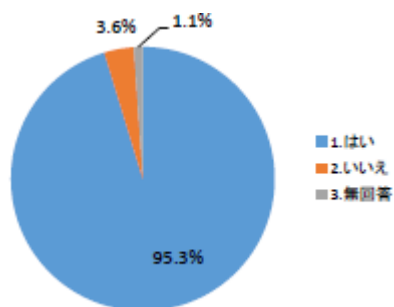
質問 5：月刊 fu（ふう）の「もんじゅ広報」の誌面は見やすいと思いますか？



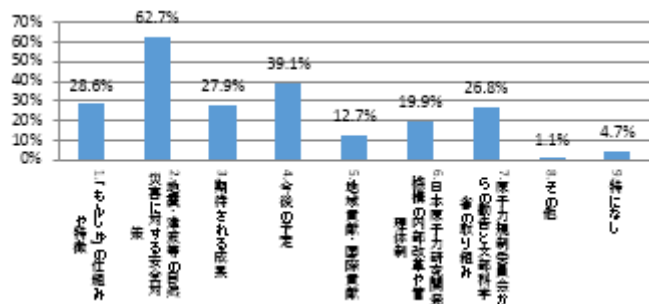
質問 6：月刊 fu（ふう）の「もんじゅ広報」の誌面を見て、勧告後のもんじゅに対する文部科学省の取組状況について、伝わりましたか？



質問 7：今後もこのような「もんじゅ」に関する情報発信はあった方が良くと思いますか？



質問 8：今後「もんじゅ」についてどのような情報を知りたいですか？



[評価指標の達成状況]

基礎的な知識の理解促進

アンケート結果：肯定的回答の割合＝51.1%

知識の理解促進の実施・手法

アンケート結果：肯定的回答の割合＝67.4%

知識の理解促進の実施の持続

アンケート結果：肯定的回答の割合＝95.3%

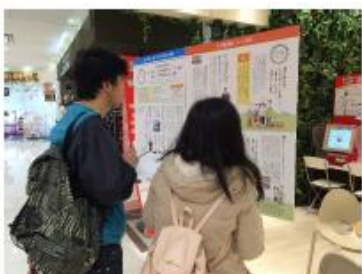
高度な知識への興味・関心の波及

アンケート結果：肯定的回答の割合＝51.1%/95.3%

[福井会場：エルパ]



[敦賀会場：アピタ敦賀]



【安全】と【経済】に
 両立を目指す「もんじゅ」へ
 原子力規制委員会が
 「もんじゅ」の取り返り
 調査します。

**福井の皆さまへ、
 「もんじゅ」の「これまで」と
 「これから」について
 ご報告いたします。**

**原子力規制委員会の
 報告内容**

- 1 日本原子力発電株式会社(以下「もんじゅ」)の原子力発電所である「もんじゅ」の原子力発電所を安全に運用するために必要な措置を講ずるべきことを指摘し、原子力規制委員会が「もんじゅ」の取り返り調査を実施することを決定した。
- 2 「もんじゅ」の原子力発電所を安全に運用するために必要な措置を講ずるべきことを指摘し、原子力規制委員会が「もんじゅ」の取り返り調査を実施することを決定した。

「もんじゅ」の「これまで」と「これから」

「もんじゅ」は、原子力発電所として、平成17年(2005年)4月に稼働を開始しました。当初は、原子力発電所の稼働による発電と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。しかし、原子力発電所の稼働による発電と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。しかし、原子力発電所の稼働による発電と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。

Q 非常に厳しい報告内容となりました。なぜ、勧告を受けたのか？ どう、対応しているのか？

A 非常に厳しい報告内容となりました。なぜ、勧告を受けたのか？ どう、対応しているのか？

Q 改革が進んでいるとはいえ、原子力規制委員会が求めるレベルに、なぜ対応できなかったのでしょうか？

A 改革が進んでいるとはいえ、原子力規制委員会が求めるレベルに、なぜ対応できなかったのでしょうか？

この研究機関は
**文部科学省 原子力規制委員会
 研究開発推進部
 高谷浩樹**

この研究機関は
**原子力規制委員会
 平成26年4月に原子力規制委員会が設置された。原子力発電所の安全確保と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。**

Q 検討会では、何を検討・議論しているのでしょうか？

A 検討会では、何を検討・議論しているのでしょうか？

Q 「もんじゅ」の研究開発は、本当に必要とされているのか？

A 「もんじゅ」の研究開発は、本当に必要とされているのか？

この研究機関は
**文部科学省 原子力規制委員会
 研究開発推進部
 加藤孝男**

この研究機関は
**原子力規制委員会
 平成26年4月に原子力規制委員会が設置された。原子力発電所の安全確保と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。**

この研究機関は
**文部科学省
 http://www.mext.go.jp/**

この研究機関は
**原子力規制委員会
 平成26年4月に原子力規制委員会が設置された。原子力発電所の安全確保と、原子力発電所の廃止に伴う放射性廃棄物の処理を目的として稼働してまいりました。**

新聞本紙で展開した内容をより平易な表現に変更し、誌面デザインにも配慮することで、主読者層である女性や若年層に対して伝わりやすい誌面を目指した。

③ 意見交換会採録の制作

原子力フォーラム in 北陸技術交流テクノフェア2015
地域の皆さまと「もんじゅ」について語り合う。

文部科学省は、10月9日(金)、福井市・福井県産業会館で「原子力フォーラム」を開催しました。「もんじゅ」の安全確保・安全対策への取り組みについてをテーマに、関係者による原子力設備と地域との対話を考える高規格定食を以て、「もんじゅ」最新の状況や安全対策の取り組みを紹介。「もんじゅ」が立地する地域の皆さまから、ご意見や質問をお聞きする意見交換会も実施しました。

基調講演 原子力技術と向い合うために
—原子力設備の方向性と地域に必要なたらば—
講師 北村 正博氏 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授

意見交換会
コーディネーター 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授 北村 正博氏
参加者 北村 正博氏 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授
山田 芳樹氏 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授
加藤 幸男氏 センター長 福井大学工学部 情報理工学系 教授

「もんじゅ」の現状と安全対策について
コーディネーター 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授 北村 正博氏
参加者 北村 正博氏 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授
山田 芳樹氏 福井大学名誉教授 福井大学工学部 情報理工学系 教授
加藤 幸男氏 センター長 福井大学工学部 情報理工学系 教授

平成 27 年 10 月 9 日に開催された「原子力フォーラム in 北陸技術交流テクノフェア 2015」(福井県産業会館) に対して採録紙面を作成し、「地元 TV 放送や Web を通じた情報提供事業(テレビ広報)」にて開設された Web ページ「もんじゅ NAVI」に掲載した。

④ 業務実施に関する評価

「地元地域の新聞を通じた情報提供事業(新聞広報)」における業務評価について」に従い、原子力、コミュニケーション、財政・運営の外部有識者 3 名や他の業務「地域住民の意識を踏まえた双方向の意見交換会の実施(広聴・広報事業)」、「地元 TV 放送や Web を通じた情報提供事業(テレビ広報)」の受託者などで構成する委員会に協力した。

「中間評価委員会」では、業務の実施状況を検証した。「事後評価委員会」では、実施内容を検証し、理解促進に係る効果や今後の課題などの評価・意見を行った。評価は、妥当性・有効性・効率性・印象性と持続性について行われ、総合評価は「A」であった。

中間評価委員会	平成 27 年 9 月 1 日実施	実施場所：文部科学省
事後評価委員会	平成 28 年 3 月 17 日実施	実施場所：文部科学省

〔評価委員（外部有識者）3名〕

木村 浩 氏（原子力）／谷川 有希乃 氏（コミュニケーション）／新澤 武志 氏（運営・財政）